

地球の未来、 地域の知力 環境問題の解決に向けて

2014.2.11(火・祝) 13:00-16:00

 鳥取環境大学 大講義室 (11講義室)

鳥取市若葉台北一丁目1番1号

聴講無料・申込不要

主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

鳥取環境大学

共催：鳥取大学

後援：鳥取県、鳥取市、鳥取県教育委員会
鳥取市教育委員会、NHK鳥取放送局
新日本海新聞社

いつでも世界の情報を手に入れ、どこからでも世界に向かって発信することが可能な時代になった。地方にいることのハンディはもはやない。豊かな自然に囲まれ、人間らしい生活をおくることができるのは地方のほうかもしれない。環境問題に新たな視点を提示できるのも、地方からなのかもしれない。地域に根差した、人間らしい生活が何なのかを考えることが、環境問題の解決につながるのだ。

基調
講演

宇宙から地球を考える

秋山豊寛 ●ジャーナリスト、宇宙飛行士(ソビエト連邦)
京都造形芸術大学芸術学部 教授

講演

遠いアフリカでの砂漠化対処に 取り組むワケ

田中 樹 ●総合地球環境学研究所 准教授

先端技術と知識を携えた “狩猟採集生活”の時代へ

小林朋道 ●鳥取環境大学環境学部 副学部長・教授

世界の食料生産を支える土地： 地域と地球をつなぐもの

恒川篤史 ●鳥取大学乾燥地研究センター センター長・教授

パネル
ディスカッション

【パネリスト】 秋山豊寛／田中 樹／小林朋道／恒川篤史

【コーディネーター】 阿部健一 ●総合地球環境学研究所 教授
横山伸也 ●鳥取環境大学環境学部 教授

総合地球環境学研究所[地球研]

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山487番地4

TEL：075-707-2173

http://www.chikyu.ac.jp/

開会挨拶 13:00~13:10

古澤 巖 ●鳥取環境大学学長
(ふるさわ・いわお)

鳥取県よりご挨拶

基調講演 13:10~13:50



宇宙から地球を考える

秋山豊寛
(あきやま・とよひろ)

ジャーナリスト、宇宙飛行士(ソビエト連邦)、京都造形芸術大学芸術学部 教授。国際基督教大学(ICU)を卒業後、東京放送(TBS)に入社し、政治部記者、ワシントン支局長、外信部デスク、国際ニュースセンター長、報道局専任局長を歴任。1990年12月2日、日本人初の宇宙飛行士として、ソ連の宇宙飛行士2人とともにソユーズ宇宙船に乗り、9日間宇宙飛行。1995年に同社退社後、福島県で農業を営み、無農薬栽培やしいたけ栽培を実践していたが、福島第一原子力発電所事故により「原発難民」に。主たる著書に『宇宙と大地』、『農人日記』、『銀と宇宙船』、『原発難民日記』など。2011年11月より京都で大学教授。

講演 1 13:50~14:15



遠いアフリカでの砂漠化対処に取り組むワケ

田中 樹
(たなか・うえり)

総合地球環境学研究所 准教授(「砂漠化をめぐる風と人と土」プロジェクトリーダー)。ベトナム国・フエ大学名誉教授。専門は、境界農業、土壌学、地域開発論。アフリカやアジアの半乾燥地での砂漠化や貧困問題に向けた対処技術の開発と普及に関する実践研究のほか、ベトナム中部の自然災害常襲地における社会的弱者層の支援や、生業活動を通しての生態環境保全の研究と実践活動に取り組んでいる。

講演 2 14:15~14:40



先端技術と知識を携えた“狩猟採集生活”の時代へ

小林朋道
(こばやし・ともみち)

鳥取環境大学環境学部 副学部長・教授。岡山大学理学部生物学科卒業。京都大学で理学博士取得後、岡山県内高等学校教諭を経て、2001年鳥取環境大学着任。専門は動物行動学と人間比較行動学。人と自然の精神的関わりについての動物行動学の解析や脊椎動物の行動や生態に関する研究を行うとともに、水辺や森の絶滅危惧動物の生息地保全活動に取り組んでいる。著書に「なぜヒトは拍手するのか 動物行動学から見た人間」、『先生、モモンガの風呂に入ってください! 鳥取環境大学の森の人間動物行動学』など。

講演 3 14:40~15:05



世界の食料生産を支える土地：地域と地球をつなぐもの

恒川篤史
(つねかわ・あつし)

鳥取大学乾燥地研究センター センター長・教授。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了(農学博士)。環境庁国立公害研究所(現国立環境研究所)、東京大学大学院農学系生命科学研究科助教授を経て鳥取大学乾燥地研究センター教授、2006年より同センター長。専門は保全情報学、環境計画学。衛星リモートセンシング、GIS、数値プロセスモデルなどを用いて、乾燥地のモニタリングとモデリングに関する研究を行っている。著書に『環境資源と情報システム』、『里山の環境学』、『緑地環境のモニタリングと評価』、『21世紀の乾燥地科学—人と自然の持続性—』など。

休憩
15:05~15:15

パネル ディスカッション 15:15~15:55

パネリスト 秋山豊寛／田中 樹／小林朋道／恒川篤史

コーディネーター



阿部健一
(あべ・けんいち)

総合地球環境学研究所 教授。京都大学大学院農学研究科熱帯農業専攻博士課程中退。東南アジア熱帯林で生態学調査を続け、その過程で環境問題の文化的・社会的側面に興味を持つ。現在の専門は環境人類学・相関地域研究。編著に『生物多様性—子どもたちにどう伝えるか』、『Good Earths: Regional and Historical Insights into China's Environment』など。



横山伸也
(よこやま・しんや)

鳥取環境大学環境学部 教授。北海道大学理学部化学第二学科卒業。北海道大学大学院理学研究科化学専攻博士課程単位取得中退。1980年に理学博士(北海道大学)を取得し、通商産業省工業技術院資源環境技術総合研究所バイオマス研究室長、同温暖化物質循環制御部長、産業技術総合研究所中国センター所長などを歴任。2004年より東京大学大学院農学系生命科学研究科教授を経て、2011年に鳥取環境大学着任。専門はバイオマス熱化学変換技術とエネルギーシステム分析。

閉会挨拶 15:55~16:00

安成哲三 ●総合地球環境学研究所長
(やすなり・てつぞう)

【お問い合わせ先】



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
総務課企画室

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
tel. 075-707-2173

※平日の8:30~17:00にお問い合わせください。



鳥取環境大学
企画課

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号
tel. 0857-38-6704

鳥取自動車道、国道9号線・国道29号線北方面から →
国道29号線 南(八頭・若桜)方面、県道323号線鳥取市街方面から →

【会場地図】

